

# フィール梅坪店

## 大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

### 1 概要

2階駐車場の利用に伴い駐車場の自動車の出入口を3箇所から4箇所に変更する(法第6条第2項)

### 2 店舗の概要

届出事項		変更前	変更後
店舗	店舗名称	フィール梅坪店	変更前と同じ
	店舗所在地	豊田市東梅坪町五丁目1-13,1-15	
設置者	名称	太啓建設株式会社	
	代表者	代表取締役 大矢 伸明	
	住所	愛知県豊田市東梅坪10丁目3番地3	
	備考	なし	
小売業者	名称	株式会社フィールコーポレーション	
	代表者	代表取締役 蟹江 義雄	
	住所	名古屋市昭和区鶴舞二丁目21-6	
	備考	なし	
店舗面積		1,521 m <sup>2</sup>	変更前と同じ

業態	総合店		
用途地域	工業地域	-	-
参考	平成17年8月19日 法第5条第1項届出 平成18年4月19日 開店		

### 3 届出の概要

届出年月日	平成19年5月2日
変更する日	平成19年6月1日

届出事項		変更前	変更後
施設の運営	駐車場出入口	数	3箇所
		位置	別紙図面のとおり
			4箇所
			別紙図面のとおり

### 4 施設の配置及び運営方法関連事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 指針による算出

行政人口	店舗面積	日來客数 原単位 (人/千m <sup>2</sup> )	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車 時間係数	指針必要台数
416,243人	1,521 m <sup>2</sup>	1,339	14.40%	-	65.00%	2.00 人	0.64	61 台

総駐車場台数	-	従業員等駐車場台数	-	付帯施設駐車場台数	-	業務用駐車場台数	=	来客用駐車場台数	評価
108台		15台		0台		0台		93台	

# フィール梅坪店

## ア 駐車場の位置及び構造等

1平面自走ハレーター:無	2平面自走ハレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
2箇所	0箇所	0箇所	0箇所	95台

## イ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

1階	種別	1	収容台数	93台		歩行者動線	非分離	騒音配慮	なし		排ガス配慮	前向き駐車	
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	判定		
東	1箇所	市町村道	16m	あり	25m	13m	49	中央分離帯あり	左折のみ	-	-		
	1箇所	市町村道	12m	なし	9m	8m	11	双方向	右左折混合	-	-		
南	1箇所	市町村道	16m	あり	10m	13m	52	双方向	右左折混合	-	-		
	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
交通整理員等の配置		常時配備											

2階	種別	1	収容台数	82台		歩行者動線	分離	騒音配慮	なし		排ガス配慮	なし	
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	判定		
東	1箇所	市町村道	16m	あり	25m	13m	42	中央分離帯あり	左折のみ	-	-		
	1箇所	市町村道	12m	なし	25m	55m	38	双方向	右左折混合	-	-		
南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
交通整理員等の配置		常時配備											

評価	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理

## 2 生活環境悪化防止関係

### (1) 騒音発生に係る事項

#### ア 騒音問題対応策

##### (ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	無	無	来客車両等	無	無	-
西方向	16 m	無	来客車両等	無	無	-
南方向	無	無	来客車両等	無	無	-
北方向	16 m	無	定常騒音等	無	有	-

遮音壁の悪影響	遮音壁設置なし
---------	---------

##### (イ) 荷捌・営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設・施設面での配慮	特になし
荷捌施設・運営面での配慮	アイドリングストップ、時間調整による搬入待機車削減
荷捌施設・機器面での配慮	低騒音型機器の導入、作業員の意識徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

##### (ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機からの騒音配慮	既存住宅に影響が少ない場所に設置
給排気口からの騒音配慮	できるだけ静音型機器の導入
駐車場からの騒音配慮	場内はフラットにして、できるだけ段差をなくす
廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避
経年劣化等の事後対策	機器周辺の防音措置の強化、機器の配置の見直し・更新

# フィール梅坪店

## イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	13	吸排気口	45	コージエネ		変電施設		浄化槽		ポンプ		エンジン等		
		冷凍用室外機	3	空調機		キュービクル	1	冷却塔								
	変動騒音	自動車走行		台車走行		荷捌 アイリング		BGM		アナウンス						
		ゴミ収集作業		後進ブザー												
衝撃騒音	荷下し音		リフト昇降音		ドア開閉音											
建物の構造(高さ)		鉄骨造3階建(約15m)														

## (ア) 等価騒音レベル予測

		北東(C)	西(A)	北(B)	-	-
用途地域		第1種住居地域	工業地域	第1種住居地域		
昼間基準値		55 dB	60 dB	55 dB	-	-
夜間基準値		45 dB	50 dB	45 dB	-	-
設置者	昼間等価騒音レベル	51.0 dB	43.0 dB	45.0 dB	-	-
	評価				-	-
	夜間等価騒音レベル	35.0 dB	28.0 dB	31.0 dB	-	-
	評価				-	-
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当		
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当		

## (イ) 夜間における騒音ごとの予測

A 商工業地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無					有
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容		工業地域であり店舗西側16mに住居			
		北東(c)	西(a)	北(b)	
用途地域		工業地域	工業地域	工業地域	
基準値を5dB減ずる要因		あり	あり	あり	
基準値		55dB	55dB	55dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	46dB	38dB	41dB	
	評価				
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	39dB	54dB	52dB	-
	評価				-
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当	

市町村の意見概要	対応
出口 の場所で荷捌き施設が出口の死角になる場合、申請地内にカーブミラー等設置対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スロープ腰壁は、退店車両ドライバーの視界の妨げにならない高さであり、搬入車両の確認は容易です。また、出口 は退店車両優先となっており、搬入車両には退店車両に十分注意するように指導いたしております。</li> <li>・開店後1ヵ年を経過しておりますが、事故等危険な状況は発生しておりません。現在、スロープからの退店車両が出庫する際にはランプが点灯する等対策を講じております。</li> <li>・しかしながら、今後も状況を見守り、事故等の問題が起こりそうであればカーブミラーを含め対応致します。</li> </ul>

## 県の意見に至る考え方

市意見に対する設置者の対応はおおむね妥当なものとする。

## 県の意見案

意見なし